

学生が活躍する場をつくる

有明高専 石川准教授に理事長賞

国立高専機構

大牟田市東萩尾町の有明工業高等専門学校創造工学科人間・福祉工学系の石川洋平准教授(37)が、若手部門で平成27年度国立高等専門学校機構理事長賞を受けた。同市銀座通り商店街への「まちなかシリコンバレー」設立に携わるなど高専生が活躍する場をつくる取り組みが認められたもの。「地域活性化の一助に」とさらに意欲を燃やしている。

若手部門は、高専勤続5年以上になる40歳以下の教員が対象。全国51の高専から1人ずつ推薦され、4人が受賞した。石川准教授の顕彰題目は「ベンチャーマインドを兼ね備えたエンジニア育成の実践」。

21年度に石川准教授の研

究室を起点に、同高専のベンチャーマインド育成プロジェクトが始動。24年度からの企業技術者等活用プログラムにつながった。26年3月には同市まちづくり基金の助成を受け、有明地区で実践的技術教育や実証フィールドの機能充実を検討

する拠点として、まちなかシリコンバレーを設立。学生や教員がまちへ出る機会が大きく増えた。

27年度からは、世代間の交流やコミュニケーションを深める活動、同高専をより身近に感じてもらうための地域、文化、歴史などをテーマとする講演会にも取り組んでいる。

「行政や商工会議所、商店街など皆さんから協力をいただき、学生も頑張っている。人と関わりながら、ものづくりができる技術者を育てたい」と石川准教授。新しい産業創出、地域活性化や地域貢献にもつなげたいと考えている。

(高本 明)



若手部門で理事長賞を受けた石川准教授